

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-Ⅱ-7

4-Ⅱ-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ガイダンス施設整備
	節	Ⅱ ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	7 サテライトガイダンス施設整備		事業主体	佐渡市社会教育課
			関連団体	県文化行政課、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	R元～R4			
事業概要	【事業目的】	○世界遺産の価値を分かりやすく来訪者へ伝えるため、メインガイダンス施設の整備状況に応じて、サテライト施設の整備を進める。		
	【事業内容】	○サテライトガイダンス施設の機能整理及び整備を進める。		
R元 事業計画と実績	【元年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイドがいなくても来館者に奉行所の機能がわかるよう、各部屋の説明、パネルの設置、動線の表示を行う。併せて、海外の来館者対応として、外国語の説明も併記する。 ●メインガイダンスへ誘導する案内できる体制をとる。 		
	【元年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンド対策として、外国語併記をした平面図の作成及び設置を行った。また、各部屋の機能が分かるような説明を入れた案内資料の作成及び設置を行った。 ●メインガイダンス等への誘導のため、奉行所跡周辺の案内パネルの作成及び設置を行った。 		
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■インバウンド対策として外国語を併記した平面図は作成したが、各部屋の案内資料に外国語を併記できなかった。 ■奉行所施設の老朽化にともなう修繕箇所が多く、予算の関係から対応できていないところがある。 		
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■海外来館者用の案内資料の作成を行う。 ■既存の展示パネルの作り直し(古くなっているため)を行う。 ■多言語化対策のため、QRコードを利用した、HP上での対策を検討する。 ■多言語案内の充実を図るため、ポケット等での対話のできるAI通訳機の導入を検討する。 		
事業評価	【事業の達成度】	[a (b) c]	◇今年度計画であった、パネルの設置や案内資料の作成を実施したことから、概ね計画どおりに進んだと判断できる。しかし、海外の来館者への対応がまだ実施されていないため、今後の取組での対応とする。	
	【事業実施の効果】	[a (b) c]		
	【総合評価】	[A (B) C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。